

# 相生っ子

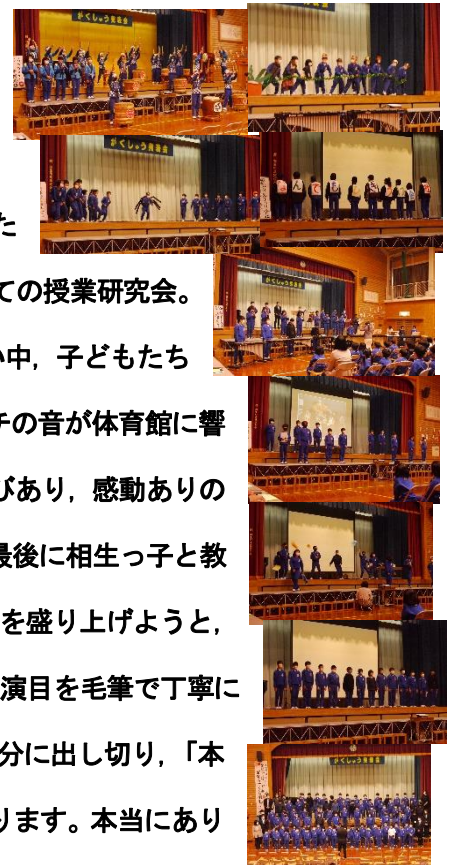
＜教職員の本年度重点目標＞  
児童が主役の学級・学校づくりと  
ICT 活用による学びの充実



令和5年2月10日 相生小学校 校長室だより 第30号 文責：岩佐隆之

## 多数のご来場、ありがとうございました。本当によく頑張った学習発表会。

4日(土)午後、多くのご来賓やふるさと学習でお世話になった地域の方々、保護者の皆様やご家族で満杯だった体育館。人数制限のない学習発表会をどれだけ待ち望んでおられたか、よく伝わってきました。2か月遅れとはなりましたが、「やってよかった」「できてよかった」と心から思っています。ただ、本当に忙しい毎日でした。31日(火)は、文科省から講師先生が来校しての授業研究会。11日(土)は、「那賀町を愛する心」弁論大会。後にも先にも日を動かさない中、子どもたちも先生方も、短期間で本当によく頑張りました。迫力の平野太鼓。力強いバチの音が体育館に響き渡りました。発達段階に応じて工夫を凝らした学年発表は、笑いあり、学びあり、感動ありの15分間でした。郡音楽会のやさしい歌と演奏は、心に沁みわたりました。最後に相生っ子と教職員で歌った校歌は、歌いながらこみ上げるものがありました。また、発表会を盛り上げようと、1～5年生は自分たちで会場やプログラムを飾り付け、6年生はスローガンや演目を毛筆で丁寧に書き上げました。司会やあいさつも、とても良かったです。練習の成果を十分に出し切り、「本番に強い相生っ子」の本領発揮です。改めて、子どもたちに大きな拍手を送ります。本当にありがとう。保護者の皆様には、学習発表会への忌憚のないご意見、ご感想を、学校評価とともにお寄せくだされば幸いです。生活環境部の皆様には、リユースマーケットも大変お世話になりました。



## デュアルスクールで6日より東京から鈴木姉妹が転入。早速、壁塗り体験も

昨年10月に続き、2度目のデュアルスクール。鈴木葵葉さん(小5)、春音さん(小1)の姉妹が、世田谷区より転入してきました。期間は、17日(金)までです。朝会で紹介した後、ク

ラスでは歓迎のゲーム等で盛り上がりました。相生っ子から進んで話しかけたこともあり、すっかり打ち解けた様子です。8日(水)には、1年生の木育教室があり、林業ビジネスセンターで「木粉粘土の壁塗り体験」を行いました。素早く?慎重に?上手に?一人一人の個性を発揮して「こて」を使って塗ることができ、左官屋さん気分でした。



(裏面もご覧ください。)

## フレイル予防で、みんな健康！挑戦した「しげちゃん脳トレ」も大好評でした



8日(水)の朝の活動は、相生地区フレイルサポーターの榎山さん、赤松さん、西田さん、東野さん、中原さんと社協の山川さんがおいでになり、子どもたちに「フレイル予防の大切さ」について話してくださいました。お話の後は、榎山さんの「しげちゃん脳トレ」。ケーブルテレビでも大好評ですが、これが結構難しい。朝から、いい頭の体操になりました。最後に感想を尋ねると、次々と立って発言した相生っ子。日頃の集会での感想発表が習慣となっていて、素晴らしかったです。元気でいるための3つの柱は、「栄養・運動・社会参加」。人の名前を覚えるのが得意だった私も、最近はずぐに名前が出てきません。「フレイル予防」待ったなしです。

## 31日(火)は学級会の授業研究会。進んで話し合う姿に多くのお褒めの言葉

2年間の指定研究のまとめとして「国立教育政策研究所による教育課程実践検証協力校事業に係る協力校(へき地教育・特別活動)としての授業研究会」を行い、文部科学省安部恭子視学官をはじめ、県教委指導主事や岡川教育長さん、県内や郡内の小中学校教員、学校運営協議会委員さん等、約50名が、1・4年生の研究授業、2・3・5・6年の公開授業を参観しました。

学年	学級会の議題名(4年は学級集会)	授業者
1年	お世話になった先生に、おれいのかいをしよう	徳野 千寿
2年	思い出アルバムを作ろう	森北 涼生
3年	にじいろドッジボール大会をしよう(集会)	喜多 将記
4年	ふるさと学習でお世話になった方に感謝を伝える会をしよう	山本 健介
5年	あおばちゃんにぼくたちの町をしようかいしよう	鈴木 千昌
6年	みんなで「全校逃走中」をしよう	八島 友美



2時間目の1年生は、先生の助言は最小限で、1年生ながら協力し合って自分たちで話し合いを進めようとする姿、3時間目の4年生は、提案理由を大切に、意見をつないで合意形成を図ろうとする姿や学級会ノートやタブレットを使って振り返りをする姿に、多くのお褒めの言葉をいただきました。4時間目の2・3・5・6年は、参観者が自分の見たい学級の授業を見にいきました。2年前に比べ、どの学級でも進んで意見を発表する子が増え、優しく声をかけたり待ったりする姿も見られます。自分の意見を押し通したり反対意見ばかりを言ったりせず、提案理由に沿った意見や友達の考えを生かそうとする意見も出され、相手意識や目的意識を大切に話合いがどの学年でもできるようになってきました。その結果、他の教科等でも発表が増え、ふだんの学校生活でも友達の意見を聞くようにする姿、友達を大切にしようとする姿が多く見られるようになってきました。まだまだ課題はありますが、自分たちで学級や学校をよりよくしよう、より楽しくしようとする態度が育ってきており、「子どもが主役の学級・学校づくり」に近づいていることを実感し、とても嬉しく思っています。

(裏面もご覧ください。)